

2019 年度SDGs未来都市等提案書(提案様式1)

平成31年3月6日

小山市長 大久保 寿夫 印

提案全体のタイトル	市の宝「渡良瀬遊水地」を核とした 魅力アップ・元気アップ・エコアッププロジェクト エコ・アグリツーリズム農福連携事業
提案者	栃木県 小山市
担当者・連絡先	

1. 全体計画（自治体全体でのSDGsの取組）

1.1 将来ビジョン

(1) 地域の実態

(地域特性)

小山市は東京圏から北にわずか約 60 キロメートル、東京駅から 41 分の東北新幹線及び宇都宮線を軸に、JR 水戸線、JR 両毛線が小山駅で結節し、道路は、国道 4 号と新 4 号国道、国道 50 号の広域幹線道路が市内を縦横に走る交通の要衝で、人口は 16 万 7 千人を超え今も増加し続けており、県内第 2 位の栃木県の南都として、大いに発展する可能性を持つまちである。

温暖な気候と豊かな自然に恵まれた小山の大地には、古くから人々が集い、寺野東遺跡、琵琶塚古墳、祇園城など 7 カ所もの国指定史跡があり、特に戦国の乱世に終止符をうち徳川三百年を決定づけ、山内一豊をはじめ軍議に参加した武将の立身出世の道筋を付けたと云われる史実「小山評定 -おやまひょうじょう-」が開かれた「開運のまち」でもある。

小山市は、恵まれた地形・気候等の自然条件に加え首都圏という有利な立地条件にあり、米麦や園芸作物及び畜産を中心とする多彩な生産活動を展開し、我が国の食料供給地として重要な役割を担っている。その中でも「はとむぎ」は、長年、全国有数の生産量と高品質を誇る特産品である。

1992 年に健康都市おやま宣言をし、市民に健康づくりの輪をひろげるため、1995 年に健康推進委員会や運動普及推進委員会が発足し、1997 年には食生活改善推進団体連絡協議会が発足するなど地域における健康増進を推進する団体と協働での事業展開を行っており、ひとづくりに力を入れている。2000 年からは介護予防事業として地域の住民が運営主体となって高齢者を支える「いきいきふれあい事業」を展開、その後も友愛サロンなど住民同士の支えあいの活動を盛んに行っている。

現在、農業従事者の高齢化や後継者不足により農地の耕作放棄地が増加傾向にあります。これらの解決策の一つとして、高齢者や障がい者が新たな農業の担い手となり、耕作放棄地を活用して農作物を生産し、それらを使った関連商品を製造する「農福連携事業」を推進している。

2008 年 6 月には「環境都市宣言」を行い、自然と共生するまち「エコシティ おやま」のさらなる推進に向けて、関東トップクラスの取り組み面積率を誇る「多面的機能支払交付金」の活動組織や渡良瀬遊水地周辺の田んぼで環境にやさしい農業による「ラムサールふゆみずたんぼ米」の栽培など、在来種を活かした街路樹・公園管理など幅広い取り組みを展開している。

2010 年にユネスコ無形文化遺産に登録された「本場結城紬」や「間々田ひも」、「下野人

形」などの伝統工芸も受け継がれており、古来から連綿と続く数多くの貴重な文化と歴史が調和したまちである。

2012年7月3日に国際的に重要な湿地としてラムサール条約湿地に登録された渡良瀬遊水地は、面積3,300haの国内最大の遊水地として、洪水から首都圏の生命・財産を守る治水の要であるとともに、本州以南最大の湿地・ヨシ原に絶滅危惧種を含む多くの貴重な動植物が生息・生育する「自然の宝庫」であり、周辺河川、周辺水田とあわせ「水と緑と大地」の豊かな「自然」を形成しており、「渡良瀬遊水地観光地化推進5ヶ年計画」に基づく、「治水機能の確保を最優先としたエコミュージアム化」、「環境にやさしい農業を中心とした地場産業の推進」、「コウノトリ・トキの野生復帰」を推進している。

また、その周辺地域は、水塚、揚舟、桑摘み歌、ヨシ産業など、歴史的・伝統的な文化遺産が今も継承されている。

2014年6月には「スポーツ都市宣言」を行い、「市民ひとり1スポーツ」を推進し、「おやま思川桜マラソン大会」や「ツールド小山」の開催をはじめ、2018年7月には開運スポーツ合宿所をオープンし、スポーツを通じて体力と健康の増進を図り市民が誇れるスポーツのまちづくりにも取り組んでいる。

（今後取り組む課題）

社会【健康・長寿総活躍のまちづくり】

（健康長寿）

2030年は75歳以上の後期高齢者が5人に1人(20%)を占めるといわれているが、現在小山市の後期高齢者は総人口の10%であることから、今後10年間で倍増する見込みである。この超高齢社会を元気に、生きがいを持って暮らしていくためには、病気になる前の「未病」の段階で自立管理がますます重要となってくるが、健康、美容に効果があることが報告された「はとむぎ」の活用、普及による「健康長寿100歳プロジェクト」の推進や、生涯活躍できる体力向上と健康増進のため「市民ひとり1スポーツ」を推進する。

（交通）

本市は、JR宇都宮線と東北新幹線を軸に、東からJR水戸線、西からJR両毛線が小山駅で結節し、道路は、国道4号と新4号国道、国道50号の広域幹線道路が市内を縦横に走り、交通アクセスが優れているが、更に地域で安心安全に暮らし続けることができるよう、誰もが便利に快適に利用できる、公共バス交通の充実を図るとともに、過度に自動車に依存した生活から、公共バスへのモーダルシフトを促し、バス利用を働きかけるモビリティマネジメントを実施する。

経済【雇用と持続可能な産業の創出】

（産業）

本市の農業は、「水と緑と大地」の豊かな自然環境と、高い技術を持った意欲ある農家

のもと、東京圏の食料供給基地として、その役割を果たしてきたが、世代交代に伴う担い手の減少、農業生産額の伸び悩み等の状況に直面していることから、6次産業化を推進しもうかる農業・魅力ある農業を推進し、併せて、環境にやさしい農業を推進することで、農業の軽減を図り、コウノトリ・トキのエサとなる生き物が豊かな生態系の保全を図る。

工業振興においては、新たな力となる若い世代に対する雇用機会の創出や、人材育成をはじめ、そのための企業支援を行う。さらに、定住人口増にも寄与する新たな転入勤労者や子育て世代に対する支援を推進する。

(観光)

市内外から来訪者を呼び込むため、エコミュージアムの整備やコウノトリ・トキの野生復帰とともに、旧思川水辺公園や乙女河岸周辺広場の活用などにより、魅力的な観光拠点の形成を図る。

環境【自然・文化・歴史の保全・活用】

(生物多様性)

田、平地林、遊水地は、それぞれ独特の景観を形成しているだけでなく、多くの生物が命をはぐくむ貴重な生息環境となっている。特に、国の天然記念物にも指定されているコウノトリが渡良瀬遊水地に定着するよう、採餌環境を整備する必要がある。これらの貴重な生物生息環境を守ることにより生物の多様性を次代に引き継いでいく。

環境【循環型社会の構築】

(低炭素・循環型社会)

すべての市民がごみの排出抑制に自発的に取り組み、ゴミの減量化・資源化の促進を図る。また、エネルギーの適正使用と新エネルギーの活用により、温室効果ガスの排出抑制を図る。

(2) 2030年のあるべき姿

【2030年のあるべき姿】

1 経済の側面

環境にやさしい農業の推進、市内への企業誘致や観光地化を推進し、雇用の創出と持続可能な産業を創出するまち

2 社会の側面



健康づくり、子育て環境の充実、公共交通網の整備により、生涯にわたり活躍できるまち

3 環境の側面

低炭素・循環型社会の構築により、「水と緑と大地」の豊かな自然環境を保全することにより、地域への愛着を育み、住み続けたいと思えるまち



(3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット

(経済)

ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)
 8, 8.1	[Redacted]
	[Redacted]
 12, 12.b	[Redacted]
	[Redacted]



環境にやさしい農業の推進、市内への企業誘致や観光地化を推進し、雇用の創出と持続可能な産業を創出する

(社会)

ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)
 3, 3b	[Redacted]
	[Redacted]
 4, 4.1	[Redacted]
	[Redacted]

健康づくり、子育て環境の充実、公共交通網の整備により、生涯に渡り活躍できるまち

(環境)

















ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)
 15, 15.4	[Redacted]
	[Redacted]
 7, 7a	[Redacted]
	[Redacted]

低炭素・循環型社会の構築により、「水と緑と大地」の豊かな自然環境を保全する

※改ページ


1.2 自治体SDGsの推進に資する取組

※SDGs未来都市選定後の3年間(2019～2021 年度)に実施する取組を記載すること。

(1)自治体SDGsの推進に資する取組	
【雇用と持続可能な産業の創出】	
①6 次産業化の推進	
ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)
 9, 9b	
	   
<p>農業者が取組む6次産業化について、多くのビジネスモデルを創出するため、県と連携し取り組みを支援する。</p>	
②環境にやさしい農業の推進	
ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)
 15, 15.1	
	   
<p>農薬・化学肥料の使用を抑えた農法による環境負荷の低減や生態系に配慮した農業を推進する。</p>	
③企業誘致	
ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)
 9, 9.5	
	   
<p>工業団地や遊休未利用地への企業誘致を促進する。また、立地状況や労働人口の推移から今後求められる成長分野における企業を選定し重点的誘致に活用する。</p>	

ひとり1スポーツ推奨し、健康増進を図るとともに、スポーツを地域資源として活用し、交流人口の拡大を促進する。



④地域公共交通の強化

ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)	
 11, 11.7	[Redacted]	
	[Redacted]	[Redacted]

渡良瀬遊水地来訪者のアクセス性と回遊性を向上させるため、コミュニティバスを運行し、加えて、若者の車離れ(2010 データ世帯別車両保有率では20代が 56.9%)や運転免許証を返納した高齢者が急増しているため、障がい者等を含め交通弱者等市民が気兼ねなく外出できる交通体系を実現させ、定住・移住を促す。



【自然・文化・歴史の保全・活用】

①渡良瀬遊水地の保全

ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)	
 6, 6.6  15, 15.5	[Redacted]	
	[Redacted]	[Redacted]

湿地の再生、拡大のため、市民協働のもと「外来植物除去」「外来魚駆除活動」等を実施し、活動の受け入れ態勢を確保することで、参加者・来訪者を増加させる。





②コウノトリの野生復帰活動の推進

ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)	
 6, 6.6  15, 15.5	[Redacted]	
	[Redacted]	[Redacted]

天然記念物にも指定されているコウノトリや野鳥が渡良瀬遊水地に定着するよう、営巣環境として、人口巣塔を設置するとともに、採餌環境を整備し、年間を通して餌となる生き物が豊富な環境を整備する。





【循環型社会の構築】

①文化・歴史の保全・活用

ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)
 11, 11.4	
	 

先人が生み出し、築き上げた史跡、文化財を調査・保全し、有効活用することで歴史のまちづくりを推進する。

②低炭素・循環型社会の構築

ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)
 12, 12.5	
	 

分別収集の徹底、集団回収の周知拡充、資源化施設の充実、各種リサイクル法の周知と普及など、リサイクルへの対応により、ゴミの資源化を目指す。

(2)情報発信

(域内向け)

各種計画に基づく事業を、SDGs の目標・ターゲットと照らし合わせ、各種計画の見直しを図るとともに、市としての取り組み方針を示す。

また、「総合計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂の過程において、市民が参加する機会に SDGs に関する研修等を交え、その理念や考え方の理解を図る

さらに、「小山市 SDGs フォーラム」を開催し、市民、企業に対し SDGs を発信する。

(域外向け(国内))

地方創生 SDGs 官民連携プラットフォームを通じ、取り組みの発信をする他、小山市定住自立圏報告会等において SDGs の取り組みを発信し波及を強化する。

(海外向け)

SDGs の取り組みについて、発信する際に多言語化することで、市内外問わず外国人に向け情報発信する

(3) 普及展開性(自治体SDGsモデル事業の普及展開を含む)

(他の地域への普及展開性)

定住自立圏構成市町(下野市・結城市・野木町)との報告会、関東どまんなかサミット会議構成市町(古河市・栃木市・加須市・野木町・板倉町)との懇談会において普及を図る。

また、実務者レベルでSDGsの情報交換会を行う。

(自治体SDGsモデル事業の普及展開策)

各種媒体を通じ、事業のPRを図る。

- 計画内容PR冊子
- 市民向け講座用資料
- その他効果的な手法による広報

※改ページ

1.3 推進体制

(1) 各種計画への反映

1. 総合計画
市の最上位計画である総合計画の改訂にあたり、SDGs の趣旨を踏まえ、施策の充実を図り、持続可能な社会の実現に貢献することを目指す。(2021 年 3 月改訂)

2. まち・ひと・しごと総合戦略
まち・ひと・しごと総合戦略の改訂にあたり SDGs の趣旨を踏まえ、施策の充実を図り、持続可能な社会の実現に貢献することを目指す。(2020 年 3 月改訂)

3. その他個別計画
小山市が今後策定、改訂する個別計画について、原則として SDGs の趣旨を計画に反映していく。

(2) 行政体内部の執行体制

【体制図のイメージ(例)】

```
graph TD; A["小山市 SDGs 推進本部 (仮称)  
市長  
副市長・教育長  
各部局長"] --- B["SDGs 推進事務局 (仮称)  
総合政策課"]; A --- C["モデル事業推進プロジェクト"]; B --- D["個別 P J"]; B --- E["個別 P J"]; B --- F["個別 P J"]; B --- G["個別 P J"]; B --- H["個別 P J"]; B --- I["個別 P J"]; C --- D; C --- E; C --- F; C --- G; C --- H; C --- I; D --- J["地域の関係者 (産・学・官・金・労)"]; E --- J; F --- J; G --- J; H --- J; I --- J;
```

(3)ステークホルダーとの連携

1. 域内外の主体

○市民、企業、地域コミュニティとの連携

市が今後策定するSDGs推進計画【仮称】を基に、懇談会やアンケート等を実施し、様々な立場からの意見を集め、対話を重ねることで、市民参加による未来像を作り上げる。

○包括連携協定締結先との連携

協定を締結した企業等とSDGsに係る取組みについても課題を共有し、協定締結先が有する知識、経験、ネットワークを活かし、持続可能なまちづくりを推進する。

2. 国内の自治体

栃木県及び定住自立圏構成市町(下野市・結城市・野木町)、関東どまんなかサミット会議構成市町(古河市・栃木市・加須市・野木町・板倉町)と相互協力を図り、SDGsに係る経済、社会、環境課各分野において統合的な取組みを図る。

3. 海外の主体

○交流のあるケアンズ市(オーストラリア)、本溪市(中国)、紹興市(中国)との連携

本市のSDGsの取組みを発信することで、国際的な事業展開、波及効果が期待できる。

○シンガポール派遣職員との連携

派遣職員のネットワークを活用し、取組みを発信することで、シンガポールのみならずアジア圏への事業展開、波及効果が期待できる。

※改ページ

2. 自治体SDGsモデル事業（特に注力する先導的取組）

2.1 自治体SDGsモデル事業での取組提案

(1) 課題・目標設定と取組の概要

(自治体SDGsモデル事業名)

市の宝「渡良瀬遊水地」を核とした魅力アップ・元気アップ・エコアッププロジェクト
エコ・アグリツーリズム農福連携事業

(課題・目標設定)

ゴール 6、ターゲット 6.6

ゴール 10、ターゲット 10.2

ゴール 12、ターゲット 12b

ゴール 15、ターゲット 15.4



農業生産者の世代交代に伴う担い手の減少、農業生産額の伸び悩み等から、6次産業化の普及に取り組むとともに、農薬の軽減による環境にやさしい農業の推進によって、コウノトリトキのエサとなる生き物が豊かな生態系の保全に努める。

そして、国の天然記念物に指定されているコウノトリが渡良瀬遊水地に定着するよう、採餌環境を整備し、これらの貴重な生物生息環境を次代に引き継ぐとともに、エコミュージアム化による魅力的な観光拠点として市内外から来訪者を呼び込む。

また、若い世代の雇用機会の創出や、定住人口増に寄与する新たな転入勤労者や子育て世代に対する支援を行うとともに、超高齢社会を元気に、生きがいを持って暮らしていくため、健康、美容への効果が報告された「はとむぎ」の活用・普及による「健康長寿 100歳プロジェクト」を推進し、生涯活躍できる体力向上と健康増進を図る。

さらに、市民の自発的なごみの排出抑制の推進による、ゴミの減量化・資源化を図り、環境に配慮した公共バスへのモーダルシフトの促進や、バス利用を働きかけるモビリティマネジメントの実施により、温室効果ガスの排出抑制を図る。


(取組の概要)

事業名:市の宝「渡良瀬遊水地」を核とした魅力アップ・元気アップ・エコアッププロジェクト
エコ・アグリツーリズム農福連携事業

市の宝である「渡良瀬遊水地」を核として、環境にやさしい農業の推進、企業誘致や観光地
化の推進による雇用と持続可能な産業の創出、渡良瀬遊水地の保全やコウノトリの野生復
帰活動の推進による自然・文化・歴史の保全・活用と低炭素・循環型社会の構築、スポーツ
による市民の健康増進と農福連携の推進による生涯活躍できる人材の確保や、地域で安心
安全に暮らし、誰もが便利に快適に利用できる地域公共交通網を強化することで、持続可能
なまちづくりを推進する

(2) 三側面の取組

① 経済面の取組

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
 12, 12b	[Redacted]	[Redacted]
	[Redacted]	[Redacted]
	[Redacted]	[Redacted]

①-1 おもてなしの提供(地域のおもてなし意識の醸成)

- ・小山市生井地区ラムサール資源を活用した交流促進協議会において、年3回(田んぼ
アート田植え、田んぼアート稲刈り、ヨシ焼き)のおもてなし事業を実施。

**①-2 インバウンド対応の情報提供・情報発信(多言語・コミュニケーションポート等の活
用、情報拠点の設置)**

- ・JICAによる研修やシンガポールの高校の修学旅行を実施。
- ・訪れた際の案内は、先方が依頼をした通訳を通しての説明のほか、英語が得意なボラ
ンティアガイドが対応。

①-3 デジタルガイドツール等の活用(GPS:位置情報、スマホアプリ等)

- ・事前申込みによるガイドの対応を実施。


①-4 ガイド育成・ガイド協会との連携

- ・平成29年度に設立した小山市渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド協会と連携。
- ・おやま市民大学の講座を受講後、ガイド協会に加入。

(事業費)

3年間(2019～2021年)総額:73,215円

② 社会面の取組

ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)	
 10, 10.2	[Redacted]	
	[Redacted]	[Redacted]
	[Redacted]	[Redacted]

②-1 健康長寿 100 歳プロジェクト

特産品であるはとむぎを活用し、健康の増進や生活習慣病予防、介護予防を促進し、健康寿命の延伸、生活の質の向上、元気な高齢者増加を促す。



②-2 農福連携事業

社会福祉施設入居者や地元高齢者が、渡良瀬遊水地周辺の農地で環境にやさしい農業によって栽培された作物を収穫し、加工・販売する。

(事業費)

3年間(2019～2021 年)総額:6,804 千円

③ 環境面の取組

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
 6, 6.6	[Redacted]	
	[Redacted]	[Redacted]
	[Redacted]	[Redacted]
 15, 15.4	[Redacted]	
	[Redacted]	[Redacted]

③-1 再生可能エネルギーの活用

- ・学校施設へのペレットストーブ導入。

③-2 CSRや市民参加型の環境保全活動の充実(クラウドファンディング等の活用)

- ・関係機関や関係団体、ボランティアの協力のもと、外来植物の除去活動を年間5回実施。外来魚駆除活動も実施。

③-3 エコミュージアム化推進

- ・渡良瀬遊水地第2調整池周辺を「エコミュージアム」として一体的な活用を図り、多くの人を呼び込む地域振興を図る。

(事業費)

3年間(2019～2021年)総額:34,827千円

(3)三側面をつなぐ統合的取組

(3-1)統合的取組の事業名(自治体SDGs補助金対象事業)

(統合的取組の事業名)

市の宝「渡良瀬遊水地」を核とした魅力アップ・元気アップ・エコアッププロジェクト
エコ・アグリツーリズム農福連携事業

(取組概要)

「渡良瀬遊水地の賢明な活用」を推進し、市の宝である「渡良瀬遊水地」を核とした、環境にやさしい農業の推進、企業誘致や観光地化の推進による雇用と持続可能な産業の創出、渡良瀬遊水地の保全やコウノトリの野生復帰活動の推進による自然・文化・歴史の保全・活用と低炭素・循環型社会の構築、スポーツによる市民の健康増進と農福連携の推進による生涯活躍人材の確保や、地域で安心安全に暮らし、誰もが便利に快適に利用できる地域公共交通網を強化することで、渡良瀬遊水地及び周辺地域の振興と持続可能なまちづくりを図る。

(事業費)

3年間(2019～2021年)総額:21900千円

(統合的取組による全体最適化の概要及びその過程における工夫)

(3-2) 三側面をつなぐ統合的取組による相乗効果等(新たに創出される価値)

(3-2-1) 経済⇔環境

(経済→環境)

KPI (環境面における相乗効果等)	
[Redacted]	
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]

新たに誘致した企業に、湿地保全ボランティアを促し、参加してもらうことで、環境保全が促進する。

(環境→経済)

KPI (環境面における相乗効果等)	
[Redacted]	
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]

湿地再生、拡大のため、企業のCSR活動や市民協働のもと「外来植物除去」「外来魚駆除活動」等を実施し、活動の受け入れ態勢を確保することで、観光誘客を推進する。

(3-2-2) 経済⇔社会

(経済→社会)

KPI (社会面における相乗効果等)	
[Redacted]	
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]

渡良瀬遊水地周辺での農業生産、産地の商品開発に福祉団体が携わることで、障がい者、高齢者の活躍の場が創出される。

(社会→経済)

KPI (経済面における相乗効果等)	
[Redacted]	
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]

農福連携事業により、渡良瀬遊水地周辺で栽培される農産物等を利用した加工品を販売することで、観光地化を進める上での経済効果をもたらす。

(3-2-3) 社会⇄環境

(社会→環境)

KPI（環境面における相乗効果等）	
[Redacted]	
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]

元気で健康な市民が増えることで、「外来植物除去」「外来魚駆除活動」等への参加者・来訪者が増加する。

(環境→社会)

KPI（社会面における相乗効果等）	
[Redacted]	
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]

生物多様性が守られ、循環型社会が構築され、豊かな自然環境が持続することで、地域への愛着が醸成され、人口の定着が図られる。

(4) 多様なステークホルダーとの連携

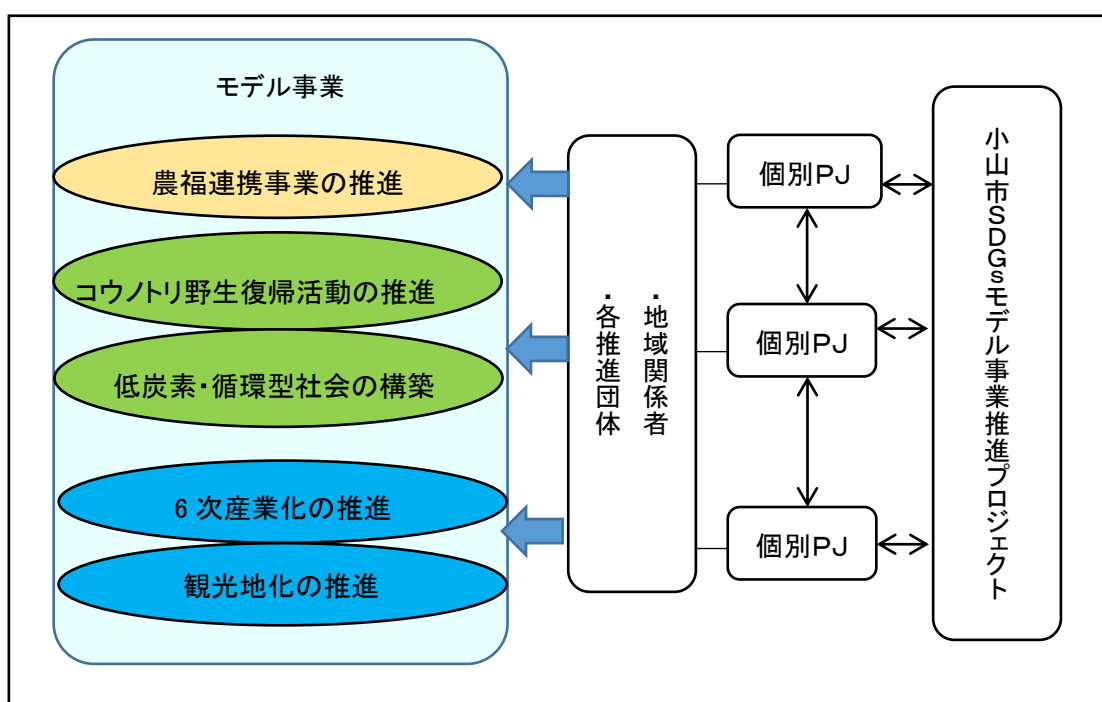
団体・組織名等	モデル事業における位置付け・役割
交流促進協議会	おもてなし事業を実施
小山市渡良瀬遊水地エコ ツーリズムガイド協会	遊水地のボランティアガイドの運営
JICA	研修やシンガポールの高校の修学旅行を実施
市内障がい者施設	農福連携事業の担い手
市民・企業	外来植物の除去活動を実施

(5) 自律的好循環

(事業スキーム)

SDGsモデル事業「市の宝「渡良瀬遊水地」を核とした 魅力アップ・元気アップ・エコアップ プロジェクトエコアグリツーリズム農福連携事業」においては、「小山市SDGsモデル事業推進プロジェクト」を核とし、個別プロジェクトチーム及び各事業における事業推進団体と連携し事業を推進する。

SDGsモデル事業は、2021年を目標年度とし、様々なステークホルダーとの連携の深化を図りながら、エコアグリツーリズム農福連携事業の自律的好循環を創出し、持続可能な付加価値創造の実現を図る。



(将来的な自走に向けた取組)

<農副連携事業>

前身の桑の実プロジェクトのノウハウがあり、ビジネスモデル基盤が確立されている福祉作業所等による、環境にやさしい農業による農作物を生かした商品開発～販売を実施する。

<受入環境整備>

受入環境整備では、その運営をガイド協会が担う事を期待している。将来的に、行政は、広報活動程度の役割のみとし、基本的には全てを運営主体となる団体に任せることとする。このため、施設の利用やイベント開催(参加)に当たっては、適切な受益者負担を求めることや企業等との連携を図ることなどで自主財源を確保することとする。

(6) 資金スキーム

(総事業費)

3年間(2019～2021年)総額:136,746千円

(千円)

	経済面の取組	社会面の取組	環境面の取組	三側面をつな ぐ統合的取組	計
2019年度	24,405	2,268	11,609	7,300	45,582
2020年度	24,405	2,268	11,609	7,300	45,582
2021年度	24,405	2,268	11,609	7,300	45,582
計	73,215	6,804	34,827	21,900	136,746

(活用予定の支援施策)

支援施策の名称	活用予定 年度	活用予定額 (千円)	活用予定の取組の概要

(民間投資等)

環境面の取組みとして環境保全活動におけるクラウドファンディング等を検討している。

(7)スケジュール

	取組名	2019 年度		2020 年度	2021 年度
統合	エコ・アグリツーリズム 農福連携事業	事業計画 →	マッチング・フォロー →	事業実施 →	事業実施・検証・普及 →
経済	・雇用と持続可能な産業 の創出	事業計画 →	事業者選定 →	企画・実施 →	事業実施・検証 →
社会	・健康、長寿総活躍のま ちづくり	事業計画 →	事業者選定 →	企画・実施 →	事業実施・検証 →
環境	・自然・文化・歴史の保 全活用 ・循環型社会の構築	事業計画 →	企画・実施 →	事業実施・検証 →	事業実施・検証・普及 →

事業名:市の宝「渡良瀬遊水地」を核とした魅力アップ・元気アップ・エコアッププロジェクト
 エコ・アグリツーリズム農福連携事業

提案者名:栃木県小山市

取組内容の概要

